



平成 21 年 4 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社ノジマ
代表者名 取締役兼代表執行役社長 野島廣司
(JASDAQ・コード 7419)
問合せ先
役職・氏名 代表執行役 三枝 達実
電 話 050(3116)1212 (代表)

平成 21 年 3 月期 通期 (連結・個別) 業績予想の修正に関するお知らせ

平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の業績予想について、平成20年10月21日付当社「平成21年3月期第2四半期累計期間(連結・個別)業績予想との差異及び通期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

1. 平成 21 年 3 月期 連結業績予想の修正等

(1) 通期 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想 (A)	138,000	750	3,000	1,500
今回修正 (B)	138,000	1,500	3,700	2,600
増減額 (B-A)	—	750	700	1,100
増 減 率	—	100.0%	23.3%	73.3%

(2) 修正理由

売上高につきましては、薄型テレビを中心としたデジタルAV機器、白物家電の売上が堅調に推移し、携帯電話販売事業につきましても国内出荷台数が依然として落ち込む中、独自の販売施策等により当初計画の販売台数を達成することができ、第2四半期連結会計期間に㈱WAVEが連結から外れたことによる売上高の減少があったにもかかわらず、計画通りの推移となっております。

営業利益につきましては、平成20年10月1日付で旧㈱イーネット・ジャパンを㈱ノジマが吸収合併し、㈱ノジマの経営資源を活用することにより本部経費が大幅に削減されeコマース事業の収益構造が大幅に改善したことに加え、優秀な人材獲得のために積極的な採用を実施したもののグループ全体での本部経費削減努力を継続したことにより、前回予想を750百万円上回る予定であります。

経常利益につきましても、上記と同様の理由により、前回予想を700百万円上回る予定であります。

当期純利益に関しましては、前期に積極的な負債の一掃を行い、また上記収益構造の改善による不採算店舗の減少により、減損損失の発生が当初予想より下回ること等により前回予想を1,100百万円上回る予定であります。

2. 平成21年3月期 個別業績予想の修正等

(1) 通期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回予想(A)	90,000	△970	1,200	550
今回修正(B)	89,000	△350	1,700	1,400
増減額(B-A)	△1,000	620	500	850
増減率	△1.1%	—	41.7%	154.5%

(2) 修正理由

売上高につきましては、上記連結業績に記載した通り、堅調に推移いたしました。

営業利益につきましては、平成20年10月1日付で旧(株)イーネット・ジャパンを吸収合併し、(株)ノジマの経営資源を活用することにより本部経費が大幅に削減され、eコマース事業の収益構造が大幅に改善したことに加え、お客様満足度向上の為に戦略的に販売促進費・人件費を投下したものの本部経費削減努力を継続したことにより、前回予想を620百万円上回る予定であります。

また、経常利益、当期純利益につきましても営業利益と同様の理由により前回予想を500百万円、850百万円を各々上回る予定であります。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上